

# 七ころび 八起き

第 15 号  
平成 27 年  
冬号



医療法人達磨会 東加古川病院

Higashi Kakogawa Hospital

～未来地域に根ざした医療～

## 理 念

- 1) 精神医療に携わることに自覚と誇りを持ち、全力を尽くす。
- 2) 患者様、ご家族を含めた地域の人々の満足と信頼が得られるような病院づくりを目指す。
- 3) 地域精神医療に貢献するために、精神保健活動、啓蒙活動、対外活動を積極的に行う。
- 4) 安全な医療と安心できる環境を提供するために継続的な改善を重ねる。
- 5) 患者様の権利を尊重する。
- 6) 安定した経営基盤を維持する。

## 作 品 紹 介

作業療法参加者の作品

～季節のちぎり絵～



## 「メメント・モリ」

院長補佐 兼診療部長 高内 茂

2015 年最初のコラムにはふさわしくないかも知れませんが、最近報道された情報から思ったことを書きます。

今、大都市では火葬場が満杯で、順番待ちの状態であるということです。「少子化社会」はしばしば話題になり、政府も対策に動いていますが、「多死」社会についてはあまり報道もされません。それとの絡みで「孤独死」をなくすというのがメディアの共通認識であるようですが、私はへそ曲がりなので、異論をもっています。

老年期というのは若い頃からの行動、生活習慣の積分値です。病気は誰のせいでもないという考えは性善なる人の考えで、私はこれまでの人生で周りを眺めてきて、そこで起こる問題のほとんどが自己責任であるはずだと考えています。生老病死はこの世に生まれた時点から定められた自然の摂理ですが、「人生」は自分が自ら歩んできた道です。

私は、自然当然のことをタブー化し、蓋をして知らん顔をする傾向は、偽善であり、「正義派正論派」を自称するメディアや綺麗ごと好きな政治家官僚に多いことを見てきました。人口の高齢化とともに死亡者数が増えるのは当たり前で、今後 30 年ぐらい激増するでしょう。その備えをせず、他人まかせにし、次の世代に順送りしてきたのは誰なのか？

「メメント・モリ 死を忘れるな」という警句があります。自分がどのような死を迎えるか意識して毎日を過ごすことが生きていることを大事にできる手掛かりになるのではないのでしょうか。



# デイケア紹介

## ～1年を振り返って～

当デイケアは12月1日現在、登録者数140名。1日の参加者は50名～多い時で60名になります。参加者からは「こんな事がしたい」「あんなことがしてみたい」「もっと勉強がしたい」等々いろいろな意見が出ます。参加者の「したい！！やりたい！！」という活動意欲や気持ちを大切に、『利用者様が地域社会での生活を維持でき、次のステップに踏み出せるように』を目標にサポートしていきたくて考えています。

### プログラム紹介

#### ＜年間行事＞

- 春** 観梅会・お花見
- 夏** BBQ大会・そうめん流し
- 秋** ミニ運動会・ふれあいフェスティバル
- 冬** 初詣・お餅つき・鍋パーティー・クリスマス会
- その他** 施設見学・カラオケBOX・映画鑑賞



毎週月曜日は料理の日です。一番の人気メニューはなんと言ってもカレーです。



就労移行支援事業所「ウイングル姫路センター」の方々に講義をして頂きました。デイケアも利用している顔なじみの参加者の方が体験談としてお話しして下さい、皆さん興味津々でした。



デイケア夏の風物詩「そうめん流し」場所を交代しながらしっかり食べて、すぐにお昼ご飯を別でしっかり食べて・・・



12/11に加古川西マジッククラブによるマジックショーが行なわれました。ステッキやお面、リングや帽子などを使ったマジックで、ワクワクドキドキのひとときを過ごしました。

### 手芸作品



手芸ではビーズ細工、マスコットづくり、陶芸が人気です。

### ☆デイケアの癒し系☆



水槽の熱帯魚たち



かめさん&かめくん



かみ刃\*ピーコ

# 第32回 兵精協親善卓球大会



平成26年11月12日、姫路中央体育会にて『第32回兵精協親善卓球大会』が開催され、当院からはデイケアメンバーも含め、11名の男女の患者様が参加されました。作業療法プログラムや、試合前には参加者メンバーで集まり、チーム一丸となって練習に励みました。

入賞することは出来ませんでしたでしたが、個人戦・団体戦共に練習の成果を存分に発揮することが出来、仲間を応援したり励ましたりとたくさんの交流や多くの笑顔がみられました。また、参加された患者様からは「来年も参加したい」「もっと上手になりたい」との前向きな意見が多くみられ、貴重な経験になったように感じました。



県下22施設から、大勢の選手が参加されていました♪



## 医局コラム vol.14



### 「病識について」

医師 菊川 大吾

今回は、病識についてお話しします。

病識とは病気であることの認識と言われていています。特に精神疾患では、病識は思考や行動など、自己に対する認識と少なからず関連しています。

私達は自己についてどれほど理解しているでしょう。時に周囲から指摘されて初めて、自分の癖や性質に気が付かされた経験はありませんか？私達は意外と自分自身について知らないのです。病識と一言で表すと、何となくわかったような気にはなりますが深い課題です。

病識と診断の関係についてはいかがでしょう。一般的に、名称というのは細分化の方向に加速される傾向を有しています。診断に関しても例外ではなくて、抽出したデータや症状の断片を寄せ集めて操作的に診断名を付けるという手法があります。こうした手段に依存する場合、再統合への意図がない限り、診断は無味乾燥な断片を診ることに終止しかねません。診断名の一方的な押し売りや、その盲目的な鵜呑みでは、病識は得られないでしょう。診断名を振りかざすだけの自己満足的な行為の受容を強いるなら、温度のない形骸化されたボックスに患者様を閉じ込める結果に繋がりがねません。そうなれば、逃げ出したくなって、病識なんてますます薄くなっても当然です。あるいは、逆に病名に逃げ込んで病気であることに依存する危険も高まるでしょう。病識とは、有機的な関わりに依存し、そこから生まれてくるお互いの気づきみたいなものかもしれません。

病識についての安易な答えはわかりませんが、患者様が関わりを持ちやすい雰囲気作りや、試みに努めたいと思っています。





# 取 り 組 み



## ☆H27年『おせち料理』～給食管理課での取り組み～☆



今年度も元日の昼食に当院では、お正月気分を患者様・入所者様に味わって頂けるよう1つ1つの料理に、皆様の1年間の健康や幸せを祈る願いを込めて、給食管理課一同おせち料理をお出ししました。昨年4月に立ち上げたソフト食のおせち料理は、24名の患者様が召し上がられました。

<常菜>



<ソフト食>



## 外来診察のご案内

### \* 外来変更のお知らせ \*

平成26年4月1日より外来診察医師の変更がありました。下記にてご確認ください。  
\*受付時間は月曜日から土曜日の8時30分～11時30分です。

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	森院長	木村	森院長	森院長	高内	森院長
	前田	大村	高内	太田	木村	
	藤田	伊敷	谷川	前田	藤田	菊川
	谷川	太田	大村	津田	大西	大西
午後				堀野 (思春期外来)		

広報誌 (PDF) はホームページからも閲覧・印刷可能です。



## 編集後記

どのような新年を迎えられたでしょうか？インフルエンザが流行しましたが広報担当者がかかる者もなく元気に広報活動しました。本年もよろしくお願いします。 広報担当

## 医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197 - 3  
TEL : 079 - 424 - 2983 (代表)  
FAX : 079 - 424 - 2985  
HP : <http://www.tatsumakai.jp/>

当院では2004年にISO9001を取得しています



QJ01045/ISO9001:2008



- ①公共交通機関でのご来院  
JR東加古川駅下車 北口より徒歩10分
- ②お車でのご来院  
加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)